答案用紙

受験番号	

●受験番号、技術部門、選択科目、専門とする事項及び問題番号の欄は必ず記入すること。

技術部門	部門
選択科目	
専門とする事項	

問題番号　Ⅰ　―

← **解答する問題番号（１又は２）を点線の枠内に必ず記入すること。**

○解答欄の記入は、１マスにつき１文字とすること。なお、英字・数字は１マスに２文字を目安とする。

２０２４　Ⅱ―１

都市再生整備計画事業の３つの柱と４つの実践について述べよ

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。

24 字×25 字

令和　年度 技術士第二次試験答案用紙

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1　都市再生整備計画事業の3つの柱①

（1）事業期間全体にわたるPDCAサイクルの確立

事業と評価を連動させたマネジメントサイクルを行う。②

（2）わかりやすさと透明性の確保

まちづくりの目標を定量化し、事業の達成状況をわかりやすいものとするほか③、積極的に情報公開を行う。

（3）民間のまちづくり活動と連携した市町村の主体的な取組

民間をはじめとした多様な主体との連携・協働を図る。④

2　都市再生整備計画事業の4つの実践⑤

（1）まちづくりの目標と目標を定量化する指標、及び数値目標の設定

住民にわかりやすいまちづくりの目標を設定する。目標は、定量化する指標と数値目標とする。⑥

（2）相乗効果を高める事業構成の工夫と多様な主体との連携

地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かしたまちづくりとする。また地域団体等の積極的な参加と民間をはじめとした多様な主体による取組を図る。

（3）事業成果の検証を踏まえた「今後のまちづくり方策」の検討

事業終了時に、成果の検証結果を踏まえた今後のまちづくり方策を作成する。⑦

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。　24字×25字

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

（４）情報公開による透明性の確保

情報公開を積極的に進め、透明性の高い事業とする。

⑧

① 都市再生整備計画事業では、社会資本整備総合交付金交付要綱、都市構造再編集中支援事業補助交付要綱に基づいて、事業評価を実施することが必要となります。この事業評価を実施する際に必要となる視点が３つの柱ということになります。問題設定に違和感があります。

② 問題の意図が掴めないので何とも言えませんが、見出しと説明内容がほぼ一緒になっています。もっと特徴を詳細に書きましょうと言いたいのですが、実際書けないですよね。1 枚の解答用紙であるにもかかわらず、問われている事柄が多すぎて、必然的に説明内容が薄くなってしまいます。これも結局、問題設定がうまくいっていないことが要因です（この記述内容ですと練習にならないことが危惧されます）。

③ 「分かりやすさ」は見出しにあるので、分かりやすくするための手段に特化した説明の方が良いと思います。例えば、アウトプット指標ではなく、アウトカム指標を設定するなどが重要な要点だと考えます。

④ ②と同様、見出しと説明内容がほぼ一緒になっています。

⑤ ３本の柱が評価の視点であるのに対し、４つの実践はこれらの視点を踏まえどうやって評価するのかといった方法論になっていると思います。よって、３本の柱と内容が重複しています。繰り返しになりますが、問題設定に問題がありますね。この場合は、どちらか（３本柱 OR４つの実践）一方を問題設定すると良いと思います。または、**「事業評価する上での注意点を書け」**といった具合になるのではないでしょうか。

⑥ ②と同様、見出しと説明内容がほぼ一緒になっています。

⑦ ②と同様、見出しと説明内容がほぼ一緒になっています。

⑧ ②と同様、見出しと説明内容がほぼ一緒になっています。

●答案用紙の解答欄の枠内に記載した解答のみ採点対象とします。　24 字×25 字